学年	高校２年	教科	国語	科目	論理国語	単位数	2
教科書名		探求　論理国語 （桐原書店）		副教材名	読解現代文必携　キーワードの卵　（尚文出版） リテラ　大学入学共通テスト対策問題集 （文英堂） 「探求　論理国語」がひらく世界 近代小説四選―山月記・こころ・舞姫・変身 （桐原書店） 大学入試　国語頻出問題　１２００　四訂版 （いいずな書店）		
コース・クラス		中高一貫文系					

Ⅰ．目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

Ⅱ．授業のねらい

1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

2 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

3 文学作品の基本構造を理解し、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえて表現を味わえるようにする。

Ⅲ．授業の進め方

1　自らの力で文章を理解し、説明できる言語能力を養成する。

2　講義形式・ＡＬ・電子黒板・ＩＣＴなど聴覚・視覚に訴えるよう、様々なツールを活用する。

3　語学的な知識の習得を目的とした小テストを実施する。

4　「文芸コンクール」に向けての学習や準備も適宜取り入れる。

Ⅳ．学習上の留意点

1　教科書の新しい単元に入る際は、予習として意味調べや漢字の書き取り、作品の通読を行うこと。

2　授業中には、板書や必要な情報や気づいた点などをノートに書くこと。

Ⅴ．定期試験

1学期　中間試験　：　評論『チンパンジーは「おせっかい」をしない』・初見問題

1学期　期末試験　：　小説『山月記』・初見問題

2学期　中間試験　：　論文『変身に伴う快楽と恐れ―「山月記」を通じて』・評論「木を伐る人/植える人」・初見問題

2学期　期末試験　：　小説『こころ』・初見問題

3学期　学年末　　：　論文『淋しい人間―「こころ」を通じて』・評論『「である」ことと「する」こと』・初見問題

※　状況によって変動する場合がある。

Ⅵ．評価の方法

1　定期試験…授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。

2　小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。

3　提出物…積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4 5 6 7	基礎学力到達度テスト演習 評論『チンパンジーは「おせっかい」をしない』 小説『山月記』 問題演習	定期試験 小テスト 提出物	・評論の基本的な読み方を習得する。 ・具体例が示しているものを丁寧に読み取り、筆者の主張を理解する。 ・漢文調の文体や寓意的な表現に注意しながら文学的な表現内容をとらえ、描かれた人物、情景、心情などを読み味わう。特に、自分と「自己」との関係について考える。
二学期	9 10 11 12	論文『変身に伴う快楽と恐れ―「山月記」を通じて』 評論「木を伐る人/植える人」 小説『こころ』 問題演習	定期試験 小テスト 提出物	・論文の基本的な読み方を習得する。 ・論理の展開を捉え、変身についての筆者の考えを把握する。 ・二項対立による比較対照に着目し、評論の読み方を習得する。 ・時代背景を踏まえて、作者の思想、感覚を理解する。 ・描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。特に、小説の鑑賞力を培い、おもしろさを味わう。
三学期	1 2 3	論文『淋しい人間―「こころ」を通じて』 評論『「である」ことと「する」こと』 問題演習	定期試験 小テスト 提出物	・論理の展開を捉え、「こころ」における「先生」の淋しさの本質について理解する。 ・長文の評論を読み、二項対立を基本　とした論構成を理解する。 ・「民主主義」「自由」「近代化」など、普遍的なテーマへの理解を深める。

※　シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。